

陸域環境調査

動植物、生態系、景観、人と自然とのふれあいの活動の場などについて調査し、陸域環境の状況を明らかにします



環境影響評価法や環境影響評価条例に基づく手続きに必要な調査をはじめ、自然公園法に基づく許可・届出行為に必要な申請手続き、自然環境保護条例などに基づく自然環境保全協定の締結など、陸域環境における様々な環境調査をサポートいたします。この他にも、動植物に関する各種調査研究やレッドデータブック、環境ガイドブック等の専門的な図書の編纂のサポートもいたします。

▶ 動植物調査

文献調査及び各調査対象に応じた適切かつ効率的な手法を用いた現地調査によって動植物の生息、生育状況について把握します。また、天然記念物や種の保存法対象種、環境省レッドデータブック記載種等の貴重な動植物の生息、生育状況についても把握します。



昆虫類調査：任意採集

項目		調査手法
動物	哺乳類	フィールドサイン法、ライトセンサス法、自動撮影装置、シャーマン式トラップによる捕獲 など
	鳥類	ラインセンサス法、定点観察法、任意観察 など
	爬虫類	目視による任意観察
	両生類	目視や鳴き声の確認による任意観察
	淡水魚類	タモ網、投網、刺し網、セルビンなどによる捕獲 など
	底生生物	コドラート法、任意採集 など
	陸産貝類	目視による任意観察 など
	昆虫類	スウィーピング法、ビーティング法などによる任意採集、目視などによる任意観察、ライトトラップ法、ベイトトラップ法 など
植物	植物相	目視による任意観察 など
	植生	ブラウンプランケの全推定法 など



カヤネズミ



カワセミ



シデコブシ

▶生態系調査

陸域生態系において上位性、典型性、特殊性の観点から注目種を選定、周辺環境や食物連鎖の関係などを把握したうえで、最新の知見に基づき統計学的解析によって定量的な予測評価を行います。

▶景観調査

文献調査、聞き取り調査及び現地踏査により主要な眺望点、景観資源、主要な眺望景観等を抽出し、写真撮影などにより現況を把握したうえで現地写真と完成予想図を合成したモンタージュ写真を作成して予測評価を行います。

▶人と自然との ふれあいの活動の場調査

文献調査、聞き取り調査などにより人と自然とのふれあいの活動の場を抽出し、その利用状況やアクセス状況などから現況を把握したうえで、過去の事例などを参考に予測評価を行います。

▶外来生物調査・ 指定管理鳥獣調査

ヒガタアシやカミツキガメなどの特定外来生物やニホンジカ、イノシシ、カワウなどの指定管理鳥獣について分布状況の把握や、被害の防除など、目的に合わせた適切な手法を用いて問題の解決をサポートいたします。



生態系調査：林内環境(累積日射量)調査



景観調査：可視領域解析



外来生物調査：ヒガタアシ防除の様子

当社には、技術士をはじめ生物分類技能検定、環境アセスメント士、ビオトープ管理士など専門的な知識を有する技術者が多数在籍しているとともに、学識経験者や各種研究機関との連携の実績も豊富です。

また、従来から実施されている一般的な調査手法に加え、レーダーシステム、レーザー測遠システム、無人航空機(UAV 通称ドローン)などの機材を活用した様々な調査手法を取り入れており、より効率的に高精度かつ多角的なデータの取得に努めています。



無人航空機(UAV 通称ドローン)